



英国政府が、国民の健康問題に関して、本格的に取り組み始めた。

2004年11月16日、英国政府は英国における公共の健康改善に関する白書を発行した。

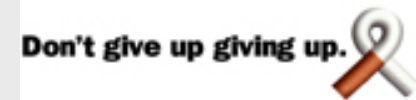
白書では、数々のイニシアティブが明記されており、喫煙、肥満、性の健康を含む課題解決策が盛り込まれている。白書では、禁煙オフィスの増加、子供に対する不健康食のプロモーションの規制、食品の栄養分の明確なラベル付け、国の無料の医療制度NHS (National Health Service)の専門家による健康的なライフスタイルの達成法についてのアドバイス、などの具体的なアクションプランが明示された。その結果、政府は、過保護国家を運営しているとして、ますます批判されている。食品産業とタバコ産業を含むいくつかのセクターは、この規制に反対している。

肥満対策：

政府は食品に対し、いわゆる「信号」ラベルの導入を検討している。例えば不健康な食品には、赤いマークがつけられる仕組みである。栄養性は高いが脂肪分の多いチーズなどの食品にはオレンジのマークがつけられ、健康なものには緑色のマークがつけられる。もし英国の大臣たちが、子供の肥満を減少させる目的でこういった新しい基準を導入すると、ジャンクフードの広告は赤信号の警告を受けるかもしれない。食品業界は、このシステムは意味がなく機能しないと見ており、現在、強く反対している状態である。2006年以降、メディアで「ライフスタイルの権威」と称されている、NHSの認可を受けたヘルス・トレーナーが、健康上の深刻な問題を抱えた人たちをサポートするようになる。個々人は、地域のヘルスセンターもしくはウォーク・イン・センター(NHSのアポなしでいける病

院)、あるいは24時間健康情報サービスを提供するHSG イレクトを通して、ヘルス・トレーナーにコンタクトをとることができる。

禁煙促進策：白書には、2008年末までに例外を除いて公共の建物と職場での禁煙が実施できるよう、政府が必要に応じて、規制導入の提案を顧慮すると明記されている。



「諦めることを諦めないで！」という政府のキャンペーンロゴ。

政府はまた、売り場でのタバコの広告を制限する予定である。今年の末までに、売り場でのタバコの広告は、最大A5サイズの用紙で、そのうちの30%以上が、喫煙が健康を損ねることの警告とNHSの禁煙ヘルプラインの番号に使われなくてはならなくなる。

健康食促進策：

2003年に、政府は、「5 A DAY(一日5つ)」というプログラムを開始した。これは、1日につき5つのフルーツもしくは野菜を消費するよう呼びかけるものである。このイニシアチブは政府の白書の中心的役割を担っており、5つの構成要素から成っている。目標達成のための策として、1) ナショナル・スクール・フルーツ・スキーム、2) ローカルの5 A DAY イニシアチブ、3) 国家レベルおよびローカルのパートナー結成(政府系の健康消費者団体)、4) 5 A DAY ロゴを含むコミュニケーションプログラム、5) 業界との共同作業(製造業者、ケイタリング流通)、などが掲げられている。



Just Eat More
(fruit & veg)

